

VOTER KATSUSHIKA

※ VOTEとは「投票する」という意味です



令和4年7月10日に執行されました

第119号

令和4年10月発行

参議院議員選挙



区役所期日前投票所



第1投票所



開票場



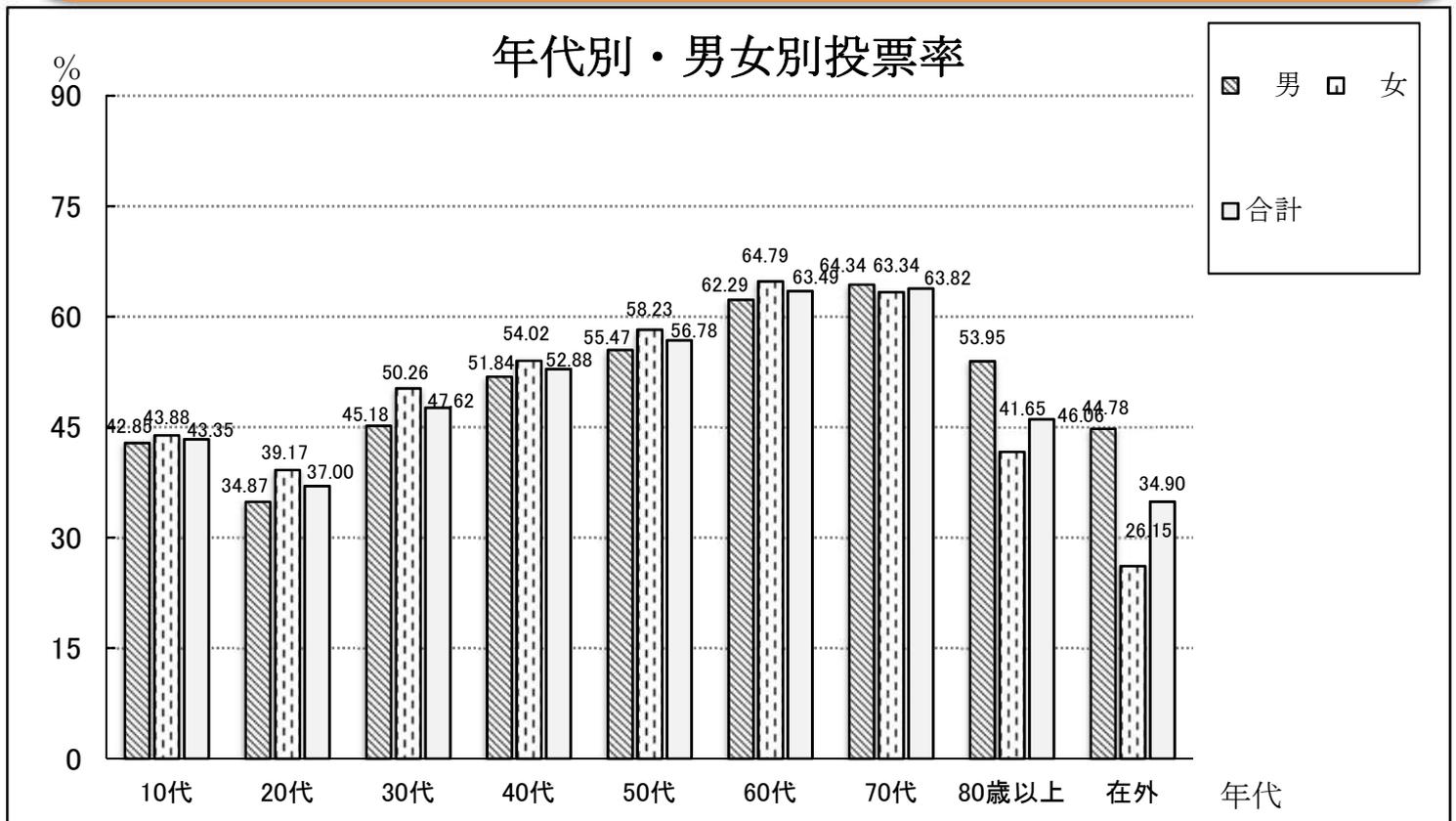
開票場

参議院議員選挙を振り返って

参議院議員選挙（以下、「参議選」）が令和4年7月10日に執行され、葛飾区の平均投票率は52.59%でした。令和元年参議選の51.21%に比べ、1.38%上昇をしました。年代別の投票率として、40代から70代までは、区の平均投票率を上回る結果となりましたが、10代は43.35%（18歳が47.93%、19歳が38.91%）、20代は37.00%、特に20代の平均投票率が一番低い結果となり、今の若者たちに選挙や政治に関心を持ってもらうことが大きな課題です。

今後も引き続き、若い世代をはじめ多くの方に投票に行っていたりするような様々な啓発活動に取り組みます。

今回の参議選の年代別・男女別投票率は、図のとおりです。



若年層立会人の感想について

令和4年7月10日に執行した参議院議員選挙の立会人をつとめた区内の大学生4名から感想をいただきました。

私は今回、参議院選挙の投票立会人に従事させていただきました。

投票立会人は、選挙の公正確保のため、投票事務の執行を確認したりする

ことが主な内容でした。朝6時半から夜8時までの業務を通して、投票の流れや関係者の皆さんがきめ細かく働いている姿を見ることができて大変勉強になりました。また、地域の方とも触れ合うことができ立会い終了後には、大きな達成感を味わうことができました。

投票会場では、若年層の数は高齢の方と比べると少なく、若い世代にいかに関心を持ってもらうことが大きな課題であることが分かりました。今回の投票立会人に従事させていただき、選挙の公正公平さなど、身近なものとして感じることができ、今後も積極的に参加する意識が持てるようになりました。

（石井 都志矢さん）





今回、選挙権を得て初めて投票立会人として選挙を運営する側から体験し、投票立会人にならないと分からないような経験や沢山のことを学びました。

まず、投票立会人として貢献できることの多さに驚きました。監視をする以外にも、選挙区と比例代表の誘導など様々な仕事があり、とても充実したものとなりました。

また、投票立会人として仕事をしていて、職場の雰囲気の良い感じました。積極的に休憩を勧めていただいたり、仕事の合間に気さくに話しかけて下さったりと、良い雰囲気の中で仕事をするのができ、朝早くから夜遅くまで継続して楽しみながら投票立会人に従事することができました。

次に、選挙に対するイメージが投票立会人という仕事を通して、大きく変わりました。最初は、投票率の低さからまばらに人が来ると思っていたのですが、実際は朝早くから列ができていて、選挙への関心の高さを感じました。

最後に、投票立会人という仕事を通して様々な方とお話することができ、選挙に関する他の多くのことを学びました。特に、自分の将来や大学生活の話に真剣に向き合ってくれた方々は、自身の経験を交えて話していただき、より将来がワクワク感に満ちたものとなりました。もし今後このような機会があれば、積極的に参加したいと思います。

（石渡 恵一さん）

大学のオンライン掲示板で投票立会人の募集を知り、今回初めて応募しました。選挙では若者の投票率の低さが問題視されていますが、毎回投票している私にとって他人事のように感じてしまい、若者としての当事者意識や問題意識はあまりありませんでした。しかし、投票立会人の業務を通じて、自身の中に当事者意識や問題意識が芽生えました。

投票立会人として従事するにあたり、雑談の中で友人達と選挙の話をする機会が生まれました。普段、選挙や政治について友人達と話す機会がほとんど無かったため、そこで初めて、同世代の友人達の中に投票を行わない人が想像した以上にいることを知りました。「（住民票を移していない、国外にいるなどの理由で）投票の手続きが大変」「仕事や学業で忙しく、投票所に出向いて投票する時間も体力もない」など、投票を行わない理由を直接聞くことができました。

選挙期日は投票立会人としての業務を行い、早朝から夜遅くまで、様々な人が投票所での業務に従事している姿を目の当たりにしました。多くの有権者が投票所を訪れていましたが、運営の方々が一票一票を大切に扱う姿勢を見て、「ここまで準備された選挙で投票しないのはもったいない！」と感じました。

この度は投票立会人という貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。今回の経験を活かして、より一層若者の政治参加について考え、行動していきたいと思います。

（K.Tさん）





普段は数分で通り過ぎる投票所を、投票立会人席に座り一日中観察する機会をいただいはじめて選挙運営には想像以上に多くの人々が関わっていることに気が付きました。

当日は車いすでお越しになる方がいらっしゃいましたが、職員による円滑な介助や、丈夫なスロープ、座位記載台の設置などバリアフリー環境が整備されており、互いの立場からの選挙に対する意志を感じました。

一方で、投票の流れに関する投票所内外のサインが乏しくわかりづらいため、混雑時には限られた職員では困っている方の誘導が追いつかず混乱が起こっているようにも見えました。投票に足が遠のいてしまうことを防ぐため、学校で主権者教育に力をいれる、地域全体で選挙の風景づくりに取り組むなど選挙が身近なものであるという理解を広めることも重要だと思えます。

(向井 晴香さん)

お知らせ

出前講座

職員が学校に出向き、選挙に関する講座やクイズを実施しています。

学校内の生徒会選挙と併せて実施することも可能です。

実施日・実施内容等につきましては、選挙管理委員会事務局までご連絡下さい。



器材貸し出し

選挙を身近に感じてもらえるよう、実際の選挙で使用している投票箱・記載台の貸出をおこなっています。

※数に限りがございますので、ご希望に添えない場合がございます。ご了承ください。

選挙啓発

令和4年6月5日(日)堀切菖蒲園祭りにて、選挙啓発活動を行いました!!



啓発活動の参加者から多くの感想をいただきました!!



初めての啓発活動に参加し、地域の方に「頑張っているね!!」というお言葉をいただきました。この活動に関心を持っていただけたら嬉しく思います!!(小川 貴美子さん)

啓発活動を通じ、「ありがとう」「ご苦労様」など様々なお声がけをしていただき、啓発活動の目的を理解していただけたかと思えます。多くの人と接することができ楽しかったです。この活動が少しでも浸透して、投票行く方が増えたらと思えます。(柏木 直文さん)

選挙権が18歳からとなり、多くの方が投票所に行っただけのよう啓発活動に取り組みました。そのなかでも、めいすい君と子供たちが握手や写真撮影を行うなど、盛況でありました。(黒川 幹雄さん)

コロナ禍のため、ビニール手袋などしながらティッシュ配布や選挙期日などについてお声がけなど啓発活動を行いました。(殿岡 和子さん)

作り直した私達が



- 【南 綾 瀬 地 区】
- 【お 花 茶 屋 地 区】
- 【 亀 有 地 区】
- 【青 戸 地 区】
- 【柴 又 地 区】
- 【新 宿 地 区】
- 【金 町 地 区】
- 【東 水 元 地 区】
- 【西 水 元 地 区】

- 【齋 藤 一 嘉】
- 【平 山 邦 夫】
- 【小 松 芙 美 子】
- 【後 藤 義 子】
- 【山 崎 登 志 枝】
- 【佐 藤 守 令】
- 【佐 藤 精 武】
- 【赤 川 芳 晴】
- 【大 熊 晃 明】
- 【古 館 和 明】

- 【岩 井 清 美】
- 【金 生 谷 貞 雄】
- 【大 西 啓 之 枝】
- 【上 原 鈴 枝 子】
- 【木 村 晴 子】
- 【鈴 木 勝 司】
- 【宇 田 川 泰 弘】
- 【山 田 卓 夫】
- 【遠 藤 正 生】
- 【橋 本 喜 重 子】

模擬選挙



葛飾区では、区内の学校へ出向き、模擬選挙をおこなっています。投票箱や記載台等、実際の選挙で使われている器材を使用し、本番の選挙に近い環境でおこないます。投票だけではなく、開票所でしか見ることのできない器材を使用し、開票作業も行います。また、タブレットを用いた電子投票での模擬選挙も実施しております。

模擬選挙の内容につきましては、小学校・中学校・高等学校のレベルに合わせて変更できます。実施日・実施内容等のご相談につきましては、選挙管理委員会事務局までご連絡下さい。



昨年度実施校について

①区立中川中学校・体育館

日時：令和4年3月3日（木）

午後1時30分から午後3時20分

対象：中学3年生（2クラス61名）

②区立桜道中学校・体育館

日時：令和4年3月7日（月）

午前10時45分～午後0時40分

対象：中学3年生（4クラス116名）

編集後記

7月の参議院議員選挙では、期日前投票者が多くなってきていると感じました。期日前投票所の立会人をしていた際、18歳の女子高校生が制服で来られ、投票箱に用紙を入れるときにつこりとしてくださる姿に、こちらも頭を下げ、心の中で選挙に関心をもって投票する人が増えるとういと思いました。これから若年層の方々に選挙に関心を持ってもらえるように、啓発活動や出前授業等を積極的に実施し、多くの方に参加してくれることを期待したいと思います。

明るい選挙推進委員の皆様、本誌に寄稿いただいた皆様に感謝申し上げます。

（広報部会長 小松 芙美子）